

平成15年度～

消防秋田

発行所 秋田県消防協会
 〒010-0001 秋田市中通4丁目3-23
 秋田県消防協会 第二部
 電話 018-832-3791
 FAX 018-834-2706
 〒010-0951 秋田山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 018-862-8760

平成十五年 春の叙勲発表

消防功労者本県十一名受賞

平成十五年春の叙勲が、恒例により、みどりの日の四月十九日に発表された。消防功労者は、次のとおりであり、五月十六日秋田ビューホテルにおいて、知事から叙勲の伝達が行われた。

なお、五月八日日本消防会館ニッショーホールにおいて、消防庁主催の式典に参列した後、皇居において天皇陛下に拝謁された。受賞された皆様は、心からお祝い申し上げます。



- ### 勲五等双光旭日章
- 元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防監
富谷 順一郎 (70)
- ### 勲五等瑞宝章
- 元峰浜村消防団団長
神馬 正夫 (73)
- ### 勲六等単光旭日章
- 元合川町消防団団長
小田 慶一 (71)
- 元鳥海町消防団副団長
佐藤 良吉 (74)
- 元太田町消防団団長
藤倉 辰見 (67)
- 元比内町消防団副団長
山口 鉄雄 (74)

- ### 勲六等瑞宝章
- 元能代市消防団分団長
大高 道秋 (75)
- 元中仙町消防団分団長
高橋 辰雄 (74)
- 元増田町消防団分団長
高橋 忠三 (74)
- 元男鹿市消防団分団長
古山 剛 (75)
- 元山内村消防団分団長
吉野 利一 (72)

秋田市出身
立命館大学法学部卒
昭和四十七年四月一日、日課職員
平成九年四月市町村課主
席課長補佐



平成十五年度秋田県消防職員初任教育入校式

平成十五年度秋田県消防職員初任教育(第五十七期)入校式が、四月九日消防学校講堂において、県内各消防本部から二十八名の入校生を迎え、西村哲男県出納長(県消防防衛協会会長)と、父元が参列して行われた。

入校式は、高橋光男学校長の式辞に続いて、西村出納長のあいさつ、県消防防衛協会会長(秋田市消防本部消防長)の祝辞があった。

続いて、入校生を代表し、鹿角広域行政組合田子康消防士が、規律ある学生生活を過ごし、勉学、研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶に努めると力強く宣誓し、六ヶ月教育訓練に入った。

各消防本部の入校者数は



- ## 秋田県消防学校
- 次のとおりであります。
- | | |
|---------|----|
| 鹿角広域行政 | 二名 |
| 大館周辺広域 | 二名 |
| 鷹巣阿仁広域 | 二名 |
| 二ツ井藤島地区 | 二名 |
| 山本南部地区 | 二名 |
| 湖東地区 | 二名 |
| 男鹿地区 | 二名 |
| 仁賀保地区 | 二名 |
| 矢島地区 | 二名 |

平成十五年度全国統一防火標語
 その油断
 火から炎へ
 災いへ

秋田県は、四月一日付定例の人事異動のほか、総合的災害に対処するため、危機管理等専門の知識を有する防災監を民間から登用し、四月三日付で発令した。

新 任 紹 介

・平成十一年四月鹿角地方部副部長
 ・平成十三年四月情報企画課情報ハイウェイ活用チームリーダー
 ・本年四月一日現職

防災監
 豊田 五郎



新潟県三条市出身
 防衛大学校卒(昭和四十六年三月)
 昭和四十六年十月第二十一普通科連隊(秋田)
 昭和五十五年三月防衛大

学校指導教官
 ・平成二年三月秋田駐屯地業務隊長
 ・平成四年富士学校戦術教官
 ・平成十二年給飼駐屯地業務隊長
 ・本年四月三日現職

消防学校に入学して

秋田市消防本部
 消防士 加藤 秀樹

四月九日、消防学校入校式を終えて、いよいよ半年間にあふ初任教育が始まりました。私は、入校にあたり三つの目標を自らに課しました。その一つは、消防人の前に人間として、また立派な社会人としての基本的な人格陶冶に努めたいということです。幸いこの消防学校にいる六ヶ月間は寮生活ということもあり、集団生活の規律を重んじ、自分に対して厳しくがんばっていかたいと思います。さてこの度、総代という大役を務めることとなり、ひしひしとがんばらうという気持ちが入り込みました。

第二に体力錬成を怠ることをしないようにするということ。消防人として体力錬成に努めるということは、当たり前のことであるかも知れませんが、一年間勤務して感じた先輩方との体力的な差が少しでも縮まるように、一生涯懸命張り続けたいと思います。体力がなくなるとは、現場活動の際に大きな支障をきたすことがありますが、そうならないように、心していかたいと思います。

第三に日々の一つ一つの授業をしっかり吸収することです。今日、増々拡大し続ける消防業務を遂行するに当たり、当然体力だけで対処することは不可能であると思います。

様々な知識、見聞を得ることにより、懐の広い教養を身に付けていきたいと思えます。

最後になりましたが、今回入校した総勢二十八名が手を取り合い、助け合いながら、時に互いに厳し切の発展に寄与できるように消防人としての礎を築き上げていけたら幸いです。

また、これまでの偉大な先輩方の名を汚すことのないように強い気持ちを持ち続けることを忘れずに、これからの六ヶ月間を人生で最も苦しく、また楽しくもある日々で過ごしたいと思えます。

トーハツ消防ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 消防被服 全般
 秋田県代理店

株式会社 高義商会

トーハツ小型動力ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 モジエット被服 全般
 消防被服 各種
 消火器 各種
 消火器 各種

(営業種目)

〒012-0111 本社 秋田県福川町 Ⅱ(0183) (42) 2125
 〒019-0504 十文字町本町 Ⅱ(0182) (42) 0032
 〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183) (73) 2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
 TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ
 トーハツポンプ
 各種消防機械器具
 消防設備保守点検

キンパライホース
 シンバラポンプ
 各種消火器

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ポース

火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代
 猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

消防秋田

創刊 初代会長 松野 隆吉
定 価 1部5円
(建設科年会費に含む)
発行人 〒010-0001
秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協会
会 社 第 二 階
電話 018-832-3791
FAX 018-834-2706
印刷 〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

平成15年度

秋田県消防協会代議員会

会長・副会長再任、事業計画及び予算決定

平成15年度秋田県消防協会代議員会が、五月二十八日午後二時から秋田市(キャッスルホテル)において開催された。

代議員会に先立ち、一時三十分から消防互助年金について日本消防協会互助年金事業団小野年金部長の加入促進について説明があった。

一時十分代議員会が開催され、奥山副会長の開会宣言、殉職消防隊員の御霊に対し黙とうを捧げた後、柴田会長が挨拶し、続いて来賓として秋田県出納長西村哲男氏、秋田県議会議長鈴木洋一氏、秋田県警察本部警備部主席参事官河合格氏の祝辞、他の来賓者の紹介があった。

議事に入り、議長は規定により柴田会長が努め、議事録簽名員に阿仁町消防団長中村信一氏、男鹿市消防団長米屋兼男氏を指名し、各議案を審議した。

まず、平成十四年度決算関係について一括説明の後、草野監事から経理状況並びに協会業務全般に亘り、正確に処理されているとの監査報告を受け満場一致で原案どおり承認され、続いて、平成十五年度事業計画及び予算、その他の議案について原案どおり可決承認された。



柴田会長あいさつ

また、本年度は、役員の変更のため審議された。選出方法については、議長一任となり、議長は各支部から一名の選考委員を指名し、協議の結果満場一致で、次の役員が選出された。(選考委員長、佐藤河辺町消防団長)

会長 柴田 康二(再任)
副会長 湯沢市消防団長 奥山 利八(再任)
副会長 秋田市消防団長 中泉 松之助(再任)

副会長 能代消防団長 中田 潤(再任)
監事 中仙町消防団長 草 務忠(誠再任)
監事 阿仁町消防団長 中村 信一(新任)
監事 天王町消防団長 吉田 兼廣(新任)

最後に協議事項について説明があり、その中で消防会館の運営について集中協議された。

消防会館は、消防隊員の福利厚生施設として昭和三十七年に建設(昭和四十六年増改築)し、多くの方々に利用されてきたが、主事である宿泊部門が、景気の低迷などから大幅な減収となり、会館運営に支障を来たとして、各団十名の宿泊券を引受し、協力をすることを決定し、全日程を終了した。



河合県警主席参事官

鈴木県議会議長

西村出納長

来賓
あいさつ



ご来賓

平成十五年度全国統一防火標語
その油断
火から炎へ
災いへ



草野監事・監査報告



小野日消年金部長

平成15年度 行事予定表

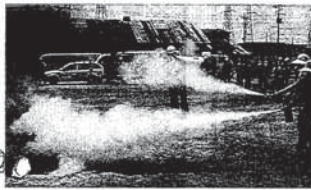
平成15年2月13日現在

月 日	行 事	
	秋田県消防協会	日本県消防協会ほか
平成15年(2003年)		
4月18日(金) 午前	会計監査(消防会館)	
4月25日(金) 午前	罹災互助会審議委員会(消防会館)	
5月9日(金) 午前	役員会(消防会館)	
5月16日(金)		都道府県 事務局長会議
5月23日(金)		日消役員会議(正副会長・理事・代議員)
5月28日(水) 午後	代議員会(秋田キャッスルホテル)	
5月下旬~6月上旬		第19回日中消防友好調査(中国コース)
6月10日(火)	協会支部事務担当者会議(消防会館)	
6月12日(木) ~13日(金)		第16回全国女性消防操法大会指導員研修会
6月18日(水)	消防団実務担当者会議	
7月3日(木) ~4日(金)	役員会・第56回秋田県消防大会(湯沢市文化会館)	
7月10日(木) ~11日(金)		ブロック別実務担当者会議(新潟県)
7月15日(火) ~16日(水)		東北地区消防連絡協議会(青森市)
8月27日(水)	第40回秋田県消防操法大会	
9月3日(水) ~4日(木)		第9回女性消防団員活性化愛媛大会
9月10日(水)	慰霊祭・役員会(八幡神社・弥高神社社務所)	
9月17日(水)		遺族会 理事会
9月18日(木) 午前		第22回全国消防殉職者慰霊祭
9月18日(金) 午後		日消役員会議(正副会長・理事)
9月下旬		都道府県 事務局長会議(55周年関連)
10月23日(木)		第16回全国女性消防操法大会
10月25日(土) ~27日(月)	日消委託指導員研修(秋田県消防学校)	
10月下旬		都道府県 協会長会議(55周年関連)
11月19日(水)		自治体消防55周年記念表彰・シンポジウム
11月20日(木)		自治体消防55周年記念大会
平成16年(2004年)		
1月16日(金)	防火ポスター審査会	
1月20日(火) ~23日(金)		消防団幹部特別研修
1月22日(木)	役員会	
1月30日(金)		遺族会 理事会
2月12日(木)		還元車両等交付式
2月13日(金) 午前		日消役員会議(正副会長・理事・代議員)
2月13日(金) 午後		第56回日本消防協会定例表彰
2月16日(月) ~20日(金)		第3回消防団幹部候補中央特別研修
3月4日(木) ~5日(金)		東北地区事務局長会議(新潟県)
3月中旬	平成15年度消防功労者表彰式	

問題

黒先(5分で四段)

【ヒント】
第一手目が意外。



(能代市消防本部提供)



(秋田市消防本部提供)



県民防災の日

20年前の悲劇教訓に

地震想定し訓練

日本海中部地震(昭和五十八年)から二十一年県内各地で大規模な地震災害を想定した防災訓練が行われた。

訓練は、「県民防災の日」五月二十六日午前九時ごろ、本県沖を震源とするマグニチュード七・七の地震が発生、沿岸各地で震度五・六強を記録し、津波による被害が発生したとの想定で行われた。

秋田市の訓練では劇物輸送車から液体アンモニアが流れ出たという想定で化学防護服を着用した市消防本部隊員が出動し人命救助やアンモニアを希釈するための放水や避難誘導等本書さながらの訓練であった。

また、日本海中部地震で大きな被害を受けた能代市では航空自衛隊秋田救難隊ヘリコプターによる救助訓練、男鹿市でも、県の消防防災ヘリ「なまはげ」による水難救助訓練を実施する。

秋田市の訓練では劇物輸送車から液体アンモニアが流れ出たという想定で化学防護服を着用した市消防本部隊員が出動し人命救助やアンモニアを希釈するための放水や避難誘導等本書さながらの訓練であった。

一方、県では災害対策本部を設置し、総合防災システムにより県内六十九市町村から被害状況を受け、被害が相当規模に及んでいるとの判断から特に人命救助を最優先し、ライフライン(ガス・水道・電気など)都市生活機能の復旧、被害住民の安全の確認に全力を尽くすよう指示し、本書さながらの訓練を終えた。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 消防器具各種
- 消火器各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 Ⅱ(0183) (42) 2125
 〒019-0504 十文字町本町 Ⅱ(0182) (42) 0032
 〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183) (73) 2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンバイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

地域の防災、災害対策に貢献!

消防ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備 火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

●会 員(消防団・職員・消防関係者)

- シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
- シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
- ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000

●一般のお客様

- シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
- シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
- ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテルあきた

秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内) 電話018(832) 4111

森田 ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

ラビットポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 協立 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846
TEL (0185) (52) 6361 (52) 6494

消防団員のための

消防互助年金

10年確定年金 10年保証終身年金

特別年金 年金は毎年3% 複利で運増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

「消防と」

「子どもたちの集い」

子どもたちの防災に対する心構えをはぐくむと、秋田市消防本部(その他の消防本部)は、「はし」の試乗や放水体験ができる「消防と子ども」の集いを、子どもの日にあわせて秋田市八橋総合運動公園で開催した。

会場には、「はし」付消防ポンプ車や救助工作車、救急車などの車両が展示され、子どもたちは、「はし」付消防車に乗ったり、子ども用消防服を着用、小型軽可搬ポンプによる的を狙ったり、放水を体験したり、記念写真を撮るなど、多くの家族連れでにぎわった。

この催しは小さい頃から消防に関心をもってもらうため、毎年子どもに合わせ行い、今回二十八回目となった。

訓練終了その日夕方

県内「夕焼け」

まさか……日本海中部地震から20年この日は朝から大規模地震を想定し、県民あがりの訓練を終え、ボツト、息その関連ニュースを視ながら夕食の準備時刻であった。

宮城県気仙沼市沖を震源とするマグニチュード七・〇と推定される地震が発生

生、本県に於いても羽後町で震度五弱、その他の全域で四・三を記録するなど二十年前の悪夢を思い起し、背筋が凍る思いであった。

世代ともに意識の風化が叫ばれるなか、今一度地震に対する認識を再確認するよう「天」が与えた教訓なのか……。

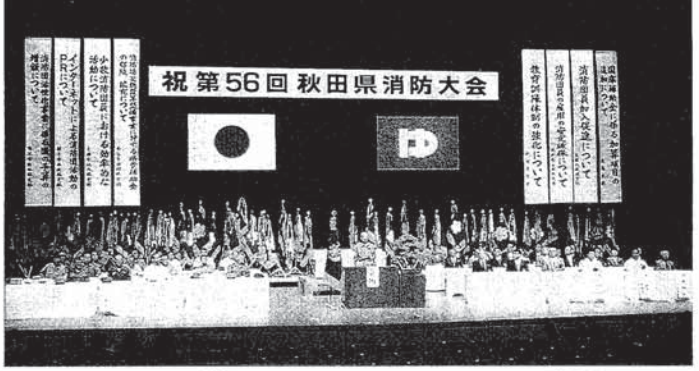
【参考図】
黒1は白2から4で失敗、黒1で白2で同じく白生きている6の右上

【解答】
黒先白死
意外にも黒1とツグのが正解、白2は黒3・5で「兩のまがり四目」。

消防秋田

創刊 昭和26年8月1日 第3種郵便物認可
定価 1部 5円 (購読料は年費を含む)
発行人 秋田県消防協会
編集人 松野 隆
印刷 秋田県印刷株式会社
電話 018-832-3791
FAX 018-834-2706
印刷 秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

郷土の平和と繁栄を誓い 第五十六回秋田県消防大会 七月三日湯沢市文化会館で開催



祝第56回秋田県消防大会

第五十六回秋田県消防大会(主催秋田県消防協会、後援秋田県消防協会、湯沢市、稲川町、雄勝町、羽後町、東成瀬村、雄勝町及び(財)日本消防協会)が、高橋敏生雄勝地域振興局長(知事代理)、鈴木湯沢市長と多数の来賓ご臨席のもと、県内消防幹部等関係者七百人が出席し、七月三日湯沢市文化会館において盛大に開催された。

大会は、参加者全員が起立の際、奥山副会長が開会を宣言し、殉職消防職員の御霊に対し黙祷を捧げ、国家斉唱の後、柴田会長が開会のあいさつを行った。続いて開催地を代表した、奥山湯沢市長が挨拶と歓迎のあいさつがあった。秋田地域振興局長(知事代理)が挨拶を述べ、他の来賓の紹介があった。続いて、消防防団活動に協力された事業所に知事表彰(別記名簿)、現職時代表彰をもって授与された傍ら消防音楽隊創設に特にご尽力された、元男鹿地区



柴田会長あいさつ
鈴木湯沢市長歓迎あいさつ
奥山湯沢市長歓迎あいさつ

平成十五年全国統一 防火標語 その油断 火から炎へ 災いへ

提案議題と趣旨説明

一、国庫補助金に係る追加について
二、消防防団の加入促進について
三、消防防団の雇用の安定確保について

初期消火や残火処理など、今以上に活動の幅が広がる。使用勝手機動力が向上する。これは確実であり、少数での効果を発揮できるものと考えられる。

消防本部消防長坂本善善氏に県協会長から特別表彰があった。

大会運営に入り、議長団に皆澤消防防団小南武二郎団長、東成瀬消防防団谷藤一団長、雄勝消防防団金子哲男団長の三人を選出し、議事に入り、初めに第五十五回大会における決議事項(大会中止のため役員会で決議)の処理状況について事務局から報告された。

最後に、本大会の主旨を意義あらしめるため宣言書を野口羽後消防防団長、決議案を佐藤雄勝消防防団長から力強く朗読され、採決は満場拍手をもって採決決定され、大会議題の審議は滞りなく終了した。

その後、全員で秋田県消防の歌「われらあり」を斉唱し、後藤雄勝消防防団長(富原)の発声により、声高らかに万歳三唱し、最後は「さつり」を閉会した。

近年、C/D型のポンプ自動車に900リットル未満の小規模な水槽が装備されている消防車も増加している。

以上のことから、国の方針にもあります「地方公共団体の二一〇にわたる使用しやすい補助金」に意味でも、加算項目を追加していただけるよう関係機関、関係者に切にお願いするものであります。

株式会社 高義商会

トータル消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服 全 代理
秋田県

トータル小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服 全 各種
消火器 各種
火災報知器 各種
火災消火器 各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 Ⅲ(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 Ⅲ(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市市町 Ⅲ(0183)(73)2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ
トータルポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検

キンバイホース
シバラポンプ
各種消火器

猿田興業株式会社

地域の防災、災害対策に貢献

消防 設備
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

火災報知器
スプリンクラー
消火器

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 15511代
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

自治体消防55周年記念事業 (基本計画)

「自治体消防55周年記念事業が(財)日本消防協会及び全国消防長会の主催で平成15年11月19日(水)、ニッショーホールにおいて表彰式・シンポジウム、20日(木)東京ドームで記念大会が行われる。



〒010-0001 秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協会
会長 柴田 康二郎
電話 018-832-3791
FAX 018-834-2706
〒010-0951 秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

平成十五年度全国統一防火標語
その油断
火から炎へ
災いへ

◎事業の趣旨

昭和23年に自治体消防制度が発足し、以来55年が経過し、その間、国民の生命・身体・財産を守るため、幾多の大災害との闘いを繰り返しながら、たゆまぬ努力によって、われわれ消防関係者が望んでやまない近代消防への道を着実に歩んできました。ここに自治体消防制度発足55周年を記念し、全国の消防団・職員をはじめ、消防防災関係団体並びに国民各界の代表が一堂に会し、国民とともに新しい世紀を担う消防に課せられた使命の重要性を改めて認識し、安全で住みよい地域そして日本を築いていくよう精進することを誓い合うことを趣旨とします。

◎大会スローガン

『つなごう 愛・勇気・ちから』

消防人の誰もが持っている“愛”と“勇気”、そしてこれらに支えられた郷土を守る不屈の“ちから”は、これまで55年間にわたって培われ、地域社会において、先輩から後輩へ、そして親から子へ、子から孫へずっと継承されてきました。今回のスローガンは、“愛”“勇気”“ちから”を確実に同世代の仲間と次世代に伝えていこうという、全消防人の決意の表われです。

◎シンボルマーク・大会旗

わが国の国土を象徴する富士山に、火災や自然災害を表す荒波、消防団員・消防職員の記章を合体して中央に配し、災害に果敢に立ち向かう消防人の姿をイメージ



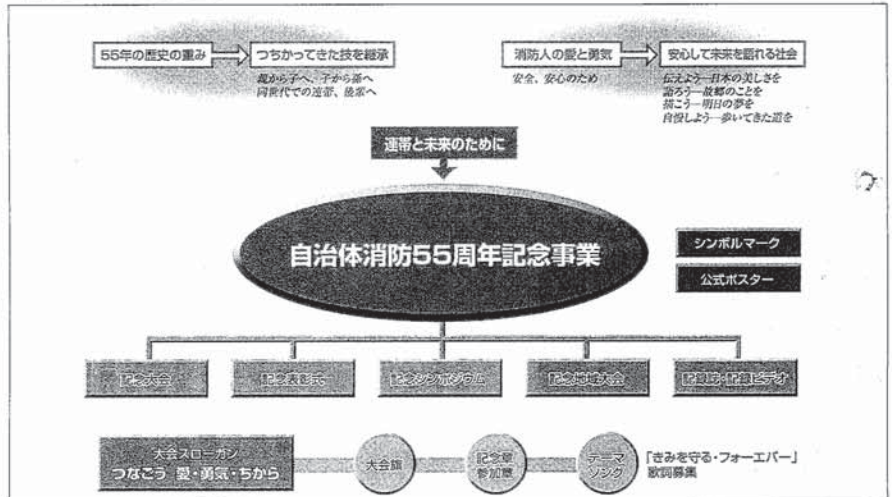
◎大会進行

時刻	項目	内容
7:30~	参加者入場	
8:00~	リハーサル	
9:45	全参加者控席	
9:50	登壇者控席	主催者/特別来賓

時刻	項目	内容
10:00	オープニング	東北の平野、皇帝の半鐘ノロからスタート
	大会テーマ曲演奏	歌謡界集結した「せみを守る・フォーエバー」
	分列行進	役員代表→女性消防団代表→北海道(以下)北から順に都府県2組で4列部隊で行進
	人員報告	参加者の数を統括者に報告
	大会旗等入場	女性消防団員と男子消防団員の組み合わせで大会旗等入場/行進音楽:消防団ラッパ隊
	大会旗等掲揚	国旗、大会旗、日本消防協会旗、全国消防長会旗、世界消防連盟旗/掲揚音楽:消防団ラッパ隊
	殉職者への黙祷	黙祷音楽:消防団ラッパ隊
	特別来賓紹介	登壇の特別来賓
	ご挨拶	
	開会の辞	
	ファンファーレ	2組スタンドのサクラソウ演奏→消防音楽隊
	「君が代」斉唱	ソリストがリード
	式 辞	大会会長
	お言葉	
	祝 辞	内閣総理大臣
	分列行進団移動	演技スペース確保のために、1組、3登壇所定場所へ後退
	特別演技	少年消防クラブ員数隊のドリル演技/巨木劇団作/恋ハイ入場
	誓いの言葉	少年消防クラブ員8人

時刻	項目	内容
11:28	記録ビデオ放映	「自治体消防55年の歩み」
	消防団ラッパ隊ドリル	
	消防音楽隊ドリル	5宮楽隊演技(さいたま、千葉、東京、横浜、川崎)
	世界消防連盟紹介	各国代表者紹介
	各都道府県別参加者紹介	各都道府県別に大会旗ラッパ(右側音楽を収録に入れて)
	近代消防演技	内容は検討中
	女性消防団演技	〃
	フィナーレ	大会テーマソング「せみを守る・フォーエバー」をロックに編曲、参加者が踊りのリーダーとともにダンス
	大会宣言	
	閉会の辞	
13:30	終 了	

◎基本概要



消防団員のための

消防互助年金

10年確定年金

10年保証終身年金

特別年金



年金は毎年3%複利で通増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

森田 ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0111 本社 秋田県福川町 Ⅱ(0183) (42) 2125
〒019-0594 十文字町本町 Ⅱ(0182) (42) 0032
〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183) (73) 2588

台風に対する備え

熱帯地方の海上で発生する低気圧を熱帯低気圧と呼びますが、このうち北西太平洋や南シナ海で発達して、中心付近の最大風速が毎秒およそ17m(風力8)以上になったものを台風と呼びます。因みに、北太平洋や北東太平洋ではハリケーンと呼びます。

台風とは

毎年、八月から九月頃にかけて日本に台風が接近し、各地にさまざまな被害をもたらしています。台風が存在自体は、みなさんご存知でしょうが、その恐ろしさをどれくらいの方が認識しているのでしょうか? 「自分の住んでいる地域は、これまで被害を受けていないから大丈夫だ。」と高をくくらずに、接近してきたときに備えて、日頃からその対策を準備しておくことが大切です。

台風に対する注意点

強い風や大雨をもたらす台風によって起きる災害には、洪水、土砂災害、高潮突風などがあります。洪水は、主に大雨によって河川があふれ、堤防の決壊などにより水が沿岸地に流れ出て被害を与えます。また土砂災害は、大雨によって地盤が緩んだことにより、がけ崩れや地えり、土石流などとなって現れます。高潮については、台風風によって海面が普段以上に大きく持ち上げられ、沿岸に押し寄せられることです。こういった台風による被害を最小限にとどめるためには、自治体や消防機関とともに住民が一体となって

外出先での地震の対応

一 市街地等を歩いている場合
・窓ガラスや屋根瓦、看板などが落ちてきます。かばいなど手荷物で頭を守り、広場などへ避難しましょう。
・ブロック塀、電柱などが倒れまじやう。崩れくおそれがあります。
・切れて垂れ下がった電線には絶対に触らないようにしましょう。

二 デパートなどにいた場合
・大型の家具や家電製品などの下敷きにならないよう、安全な場所へ移動しましょう。
・ガラス製品や照明器具の落下に注意しましょう。
・出口に殺到するとパニックになるので、店員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。

三 地下街にいた場合
・地下は地上の建物より揺れが少ない、比較的安いです。停電になっても非常照明がつくので、落ち着いて係員の指示に従って避難しましょう。
・もし火災が発生したら、煙の充満が早いので、誘導灯に従って早めに地上に避難しましょう。ハンカチやタオルで鼻と口をおおひ、体を低くして、はうように避難します。

四 車を運転していた場合
・ハンドルをしっかり握り、徐々に速度を落とすとして道路の左側に停車しましょう。
・救助や消火活動の妨げになる場合があるので、車を置いて避難する場合には、鍵はつけたままにしておきましょう。

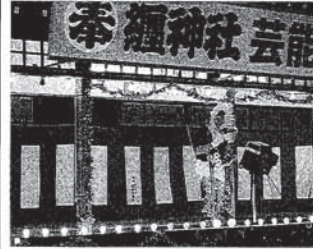
五 情報は公的のものに頼る
・情報はラジオやテレビ、防災行政無線など公的のものに頼り、うわさなどに振り回されないようにしましょう。

六 防災後の電話の利用について
・地震の後、被災地では電話がつながりにくくなります。N.T.T.の災害伝言ダイヤル「177」サービスの利用方法を覚えておきましょう。災害時でも、公衆電話は優先的に復旧されます。
・遠隔地の親戚に安否情報を寄せるなど、あらかじめ連絡方法について決めておきましょう。

地域ぐるみの防災体制を整えることが重要です。例えば、地域住民の参加のもと、避難誘導や救出、救援など実践的な防災訓練を重ねることによって関係者の防災意識を喚起し、災害危険箇所を事前に点検し、必要に応じて、土砂災害、高潮などへの対策を講じておくことなどです。

日頃からの防災知識の普及啓発はもとより、災害に備えたより実践的な情報収集および伝達体制の確立、災害危険箇所に対する措置、避難体制の整備、実効性のある防災訓練の導入など、住民と防災関係機関が一体となって一層の防災体制の強化を事前に図り、台風風に備えておくことが重要です。

例祭は、長らく六月二十四日だけの祭典であったが、昭和五十四年から前日の二十三日に宵祭りとして消防団員による奉納芸能大会も行われるようになった。



能代市纏神社例大祭で無火災を祈願!

能代市の纏(まとい)神社祭典が六月十三日、二十四日の両日、多数の来賓を迎え盛大に開催された。纏神社は昭和十四年、消防組が消防団に改組された「まとい」が団旗に変わつたのを契機に、古来から郷土能代を火災から守り、多くの困難の道を歩んだ「まとい」を鎮火の神として祀うとして昭和十七年六月二十四日に社殿を建立し鎮座式を挙行、以後毎年六月二十四日を例祭として祭典を行っているものである。このような神社は全国的に非常に珍しく、能代市民の防火防災に対する意識の高さの現れでもある。

例祭は、長らく六月二十四日だけの祭典であったが、昭和五十四年から前日の二十三日に宵祭りとして消防団員による奉納芸能大会も行われるようになった。

来賓として秋田県総務部長、秋田県山本地域振興局長、能代市長及び同市議員、消防団長などを迎え、消防団員約四百名が参加して、自慢の歌や踊りを披露し、大いに会場をわかせた。梅雨の真っ直中で開催にも関わらず過去の二十四回の奉納芸能大会は、日頃の消防関係者の行いの良さを反映してか、一度も雨にたたられたこともなく、今年も朝からの晴天でこれ

消防訓練大会

消防訓練大会(操法大会)は、六月十九日(日)鹿角市を皮切りに八月三日(日)能代市山本郡支部、河辺支部を最後に各支部において二日間の訓練の結果を競った。

この競技は、消防団員(女性消防隊員)の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化に資することを目的に毎年各支部毎に「消防訓練式」、

- 小型ポンプ操法の部
 - 鹿角支部
 - 鹿角市消防団尾去沢第一分団
 - 大館北秋田支部
 - 阿仁町消防団第七分団
 - 能代市山本郡支部
 - 山本町消防団第四分団
 - 男鹿南秋支部
 - 五城目町消防団第七分団
 - 秋田市支部
 - 秋田市消防団四ツ小屋分団
- ポンプ操法の部
 - 河辺支部
 - 雄和町消防団第一分団
 - 本荘市由利郡支部
 - 島海町消防団第五分団
 - 大曲市仙北郡支部
 - 田沢湖町消防団第六分団
 - 横手市平鹿郡支部
 - 横手市平鹿郡支部
 - 十文字町消防団第三分団
 - 湯沢市雄勝郡支部
 - 雄勝町消防団第十一分団

地域の防災、災害対策に貢献!

消防設備
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号 TEL018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX018 (824) 3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- ターボポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- シンバルポンプ
- 各種消火器

● 会員(消防団・職員・消防関係者)

- ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
- ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
- ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000

● 一般のお客様

- ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
- ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
- ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテルあきた
秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内)電話018(832) 4111

消防秋田

吉 産 松 野 長 初 代 会 長
5 内 3 部 1 定 位
(専任科は年会費に含む)
〒010-0001
秋田市中通4丁目3番23
秋田県消防協会
会 長 柴 田 康 二 郎
電話 018-832-3791
FAX 018-834-2706
〒010-0951
秋田市山王7丁目5番29
秋田印刷社 松原印刷社
電話 018-862-8760

第四十回秋田県消防操法大会

優勝

県ポンプ操法……山本町消防団
ポンプ車操法……小坂町消防団
合……本荘市由利郡支部

第四十回秋田県消防操法大会が八月二十七日(水)午前十時から秋田県消防学校放水訓練場において開催された。

この操法大会は、秋田県と(財)秋田県消防協会が主催し、消防団員、婦人消防隊の消防技術の向上と志気の高揚を図り消防活動の充実強化に資することを目的に毎年行っている。

この日は、前日までの降り続いた雨も上がり絶好のコンディションとなり、出場選手は日頃の訓練の成果を競い合った。会場には、団員をはじめ、家族、住民など多くの方が来場し盛んに声援を送り熱気みなぎる大会となった。

大会には、各支部から選抜された「小型ポンプ操法」に十チーム、「ポンプ車操法」に七チーム、それに今年度全国女性操法大会(軽可搬ポンプ操法)に県代表として出場する山本町婦人消防隊の演技披露など精鋭約百名が参加し、午前九時五十分総指揮者である雄勝町消防団金子哲雄団長の号令により、それに十一月十日



東京ドームで開催される自治体消防五十五周年記念事業の分別進捗に県代表として参加する旗手中山町消防団軍務課団長ほか四十名を先頭に各支部の別列進を行ない、西村秋田県副知事、柴田秋田県消防協会長の観戦を受けた。

開会式は、午前十時、今野秋田県総合防災課長の開会の詞で始まり、前年度優勝した消防団から優勝旗が返還された。続いて主催者である西村秋田県副知事、柴田秋田県消防協会長からそれぞれ激励のあいさつがあり、次いで、来賓を代表し、秋田県町村会副会長々々本町長の祝辞の後、他の来賓者の紹介があった。

その後、消防庁長官のメッセージ、日本消防協会長の祝電が披露された後、大会審査長である高橋消防学校長から審査要領により厳正にして公平な審査を行なうと競技上の指示があった後、出場選手を代表して前年度総合優勝した男鹿南秋支部の五城目町消防団第七分団佐々木雄幸班長が、消防精神に則り、正々堂々と競技するとの力強い宣誓を行ない開会式を終了した。

競技は、小型ポンプ操法の部(午前)、ポンプ車操法の部(午後)の順で、それぞれ抽選順により競技が行なわれ、出場チームはどれも各支部代表として、この日の荣誉を目指し、猛特訓を積み重ねてきただけに、指揮者との熱誠溢れる号令により俊敏に的確な消防操法を展開し、日頃鍛えた技術を余すことなく駆使し、各支部と互望担って熱い戦いを繰り広げた。また選手の出発にかけた消防団幹部、同僚、家族の方々にはそれぞれの声援を送り、盛んな拍手や歓声により、会場は始終緊張のなかに和やかな応援風景の中で競技進行し、昼食をはさんで三時間わたる競技が終了し、最後に山本町婦人消防隊による軽可搬ポンプ操法の演技が披露され、全国大会での活躍を期待し盛んな拍手と激励の声援が送られた。



ポンプ車操法、軽可搬ポンプ操法

閉会式は、高橋審査長から金銭的に均衡した成績と統一された操法が行なわれ日頃の努力に感謝したいとの総評があり、その成果が発表された。

表彰式が行なわれ「小型ポンプ操法の部」で優勝した山本町消防団第四分団に消防庁長官優勝旗と秋田県知事優勝旗、「ポンプ車操法の部」で優勝した小坂町消防団第四分団には秋田県消防協会長優勝旗、総合優勝した本荘市由利郡支部は日本消防協会長優勝旗がそれぞれ授与されたほか、各部において入賞されたチームには、秋田県知事賞及び秋田県消防協会長賞が授与された。出場選手を代表し、総合優勝を輝いた本荘市由利郡支部島海町消防団佐藤安夫団長が、この荣誉にごとにも一層精進し、地域住民の安全確保に当てる覚悟を表明し答辞とした。

最後に、秋田県消防協会長 山茂会長、山茂会長の発声による万歳を三唱し、奥山利八、秋田県消防協会副会長の閉会のことばを述べた。

祝 辞
消防庁長官 石井 隆 一
平成十五年度第四十回秋田県消防操法大会が、本日、ここに盛大に挙行されますことを心からお祝い申し上げます。

我が国の消防は、戦後、自治体消防として発足して以来、関係各位の御協力によって着実に発展を遂げ、本年で五十五周年を迎えることができました。その間、消防団の皆様方におかれましては、消火活動や風水害対策のほか、火災予防の啓発活動など、幅広い分野で大いに活躍いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、国内の災害事情を見ますと、去る七月二十六日には、宮城県北部を震源とする震度六強の地震が発生し、六百名を超える負傷者のほか、ライフラインや、約九千棟の住宅にも被害を受けました。折しも大雨洪水被害が発令され、警戒水位も超え、被害の拡大が危惧されていましたが、消防団の懸命の作業により、被害拡大の未然防止が図られ、住民の皆様からは、大変に心強く感謝されたところであります。

また、先般、日本に上陸し、猛威をふるった台風第十号につきましても、北海道を始め、国内各地に大きな被害をもたらしたところであります。

このような災害の発生に際して、地域に密着し即時に多くの人員で対応することのできる消防団は、地域の消防活動の要として高く評価され、信頼を受けているところであります。

消防庁といたしましても、消防団活動の一層の充実確保を図るため、施設、設備の充実や、消防団員の処遇改善のほか、地域防災力の向上に特に寄与されている消防団に対する表彰等の施策を推進してまいりました。

本日、御出場の皆様は、それぞれの地区から荣誉ある代表として選ばれた精鋭の方々となりました。日頃の厳しい訓練により培われた、高い士気と優れた技術を存分に発揮され、ともに消防団活動の一層の充実へつなげていただきますことを期待しております。

結びにあたり、地域住民の生命・身体・財産を守るため、日夜献身的な御尽力をいただいております消防団員の皆様、並びに、それを支えてくださる御家族の方々へ、深甚なる敬意を表しますとともに、各消防団及び、秋田県消防のますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

日本消防協会会長 徳 田 正 明
本日の大会を祝し、心よりお喜び申し上げます。皆様方の並々ならぬご尽力に敬意を表し大会のご成功を祈念いたします。

第四十回秋田県消防操法大会を終了した。

平成十五年度全国統一防火標語 その油断 火から炎へ 災いへ

〔操法大会成績〕

◎小型ポンプの部
一位 山本町消防団 第四分団
二位 田沢湖町消防団 第六分団
三位 島海町消防団 第五分団
◎ポンプ車の部
一位 小坂町消防団 第四分団
二位 比内町消防団 第一分団
三位 由利町消防団 第一分団
◎総合
一位 本荘市由利郡支部 二位 鹿角支部 三位 男鹿南秋支部

トータル消防ポンプ モリタ自動車ポンプ 消防被服 秋田県代理店

株式会社 高義商会

トータル小型動力ポンプ モリタ自動車ポンプ モジエ防炎火災火消

総合防災設備センター

〒012-0111 本社 秋田県福川町 Ⅱ(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 Ⅱ(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183)(73)2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号 TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ トーハツポンプ 各種消防機械器具 消防設備保守点検

キンバイホース シンバラポンプ 各種消火器

猿田興業株式会社

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車 小型ポンプ ホース

火災報知器 スプリンクラー 消火器

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

秋田県総合防災訓練

《大地震》

想定

～鹿角市で開催～

第四十一回秋田県総合防災訓練が一日、鹿角市で行われた。

この訓練では、防災関係機関と地域住民が協力して地震や火災等を想定した各種訓練を行った。

訓練には、秋田県、鹿角市、消防、警察、自衛隊それに地元住民など約一万人が参加し、初期消火・避難、救助、応急処置を実際に行い、災害時の基本行動を学ぶなどの訓練を体験し、日頃の備えの大切さを再確認した。

午前九時頃、八幡平付近

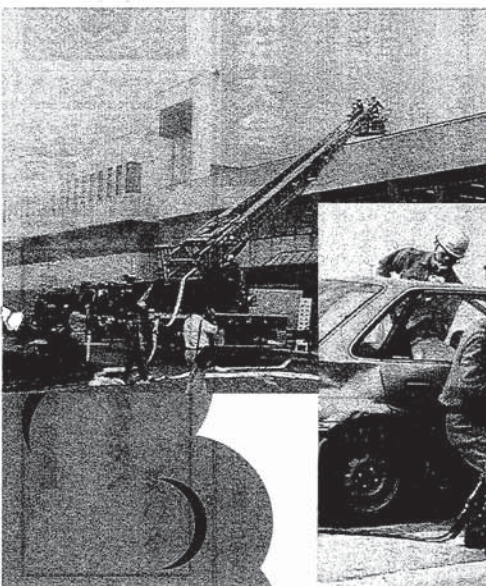
を震源とするマグニチュード7、震度7の強い地震が発生し、家屋や道路が壊れ、火災も多発しさらに山崩れなどが発生したとの想定で行われた。

今回の訓練は、防災意識を高めるため防災機関と地域住民の協力で重点が置かれ市民参加を重視した。商店街では地元の小・中学生・一般市民がバケツリレーで消火活動にあたり、自治会員らがお年寄りなど災害弱者をリヤカーや車いすで運んだり、また、高校では生徒同士の応急処置や、全生徒が避難誘導訓練を行うなど、身近な災害事故にも生かせる訓練を展開した。

また、今回初めて東北自動車道での多重衝突事故を想定し、自衛隊、県警、日本道路公団などが負傷者の救出訓練が行われた。



6 高等学校避難誘導訓練
応急手当・処置訓練



各地域で防災訓練

女子学生放水

女子高生 放水に挑戦

湯沢北校の就職希望の二年生が八月下旬から湯沢雄勝をはじめ横手平鹿地域の事業所等において職場体験実習を行った。

このうち、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部では、三人の女子高生が三日間にわたって放水訓練やけが人の救出訓練などに挑戦し、危険と隣り合わせで行われる消防の実際を学んだ。

「防災の日」の一日県内各地で防災訓練が行われた。秋田市では、日本海を震源とする震度6弱の地震が発生したと想定し、秋田市や県警、自衛隊、消防など関係機関・団体から約一、五〇〇人が参加して行われた。

訓練では、橋の下に落ちた人をクレーンで吊り上げて救助したり、ビルで火災が発生し逃げ遅れて屋上に避難した人たちは、し車やヘリコプターも使って救出するなど、二十種類の訓練が実施された。

●会 員 (消防団・職員・消防関係者)

- ・シングルルーム (洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
- ・シングルルーム (洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
- ・ツインルーム (洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000

●一般のお客様

- ・シングルルーム (洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
- ・シングルルーム (洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
- ・ツインルーム (洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテル あきた

秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内) 電話018(832) 4111

森 田 ポ ン プ ラ ビ ッ ト ポ ン プ
桜ホース・ソフト吸管 消 防 被 服 一 式
各 種 消 火 器 消 防 機 器 一 式

株式会社 **協 立**
株式会社 **能代消防センター**

能代市栄町12の3 〒016-0846
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

消防秋田

〒010-0001 秋田市山王7丁目5-20
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8790

11月2日～8日 秋の火災予防運動

三項目を重点目標に 一層の安全確保

秋の火災予防運動は、例年秋から冬にかけて暖房器具などによる建物火災が発生しやすい時期を迎えることから、火災予防運動の一層の普及を図ることにより、火災の発生を防止し、死傷事故・不労は特に高齢者を中心とした財産の損失を防ぐことを目的として、毎年実施されている。

平成十五年度において

- 秋田県では、次の三項目の重点目標を定めて県民総参加の運動を展開することとしている。
- 重点項目
- 一、住宅防火対策の推進
 - 二、放火・火災・連発放火・死傷事故の防止
 - 三、消火器事故防止対策の推進
- 6つのポイント
- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない
 - 2 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない
 - 3 たぶらを掲げるときは、その場を離れない
 - 4 子どもには、マッチやライターで遊ばせない
 - 5 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
 - 6 ストープには、燃えやすいものを近づけない

火の用心 6つのポイント

秋の火災予防運動
その油断 火から炎へ 災いへ

11月2日(日)～11月8日(土)

平成十五年度全国統一防火標語

その油断 火から炎へ 災いへ

秋田県殉職消防団(職)員慰霊祭

平成十五年度 九月十日 秋田市千秋公園

職消防団(職)員慰霊祭は、九月十日(水)秋田市千秋公園本丸の八幡秋田神社の社殿において、秋田県知事(代理)鈴木謙三県議議長及び消防協会役員等約五十名が参加して行われた。

例年、慰霊祭は、同神社前の殉職消防団員招魂碑前で行っているが、この日は、生憎朝から雨のため社殿で行った。

慰霊祭は、午前十一時神事による儀の後、招魂、献せんの儀の後宮司による齊主のりと続いて祭主である祭長が祭文を、慰霊の言葉を秋田県知事(代理)今野総合防災課長がそれぞれ御霊に奉呈した。

次いで、日本消防協会秋田市長会長からの電報が紹介されたのち、祭主である祭長、知事(代理)、遺族代表(鹿角市花ノ木八重子)の順に玉串を奉天し、最後に宮司が撤せん、送こんの儀を行い慰霊の式典を修めた。

この消防招魂碑に合祀されている御霊は、消防団員三十九柱、消防職員五柱の四十四柱であります。

ご生前の功績を偲び、永遠のご冥福を心からお祈り申し上げます。

全国消防殉職者慰霊祭

第二十二回全国消防殉職者慰霊祭が、九月十八日午前十時から日本消防会館(メッセホール)にお

いて、全国から参加した御遺族のほか来賓および消防関係者多数が参加して行われた。

ご功績を偲び、御霊の安らかな御冥福をお祈りした。続いて、社団法人江戶消防記念会有志による鎮魂の歌(木やり)が捧げられた後、徳田会長のお礼のことがあり、厳粛にして盛大な式典を終了した。

遺族代表参加者

殉職者氏名	遺族氏名	続柄
花ノ木 政満	花ノ木八重子	妻
藤井 長太郎	中村 恵美子	孫
石井 長蔵	石井 キヨ	次女
石田 岩太郎	石田 巖	長男
福田 武治	ふく 俊雄	養子
池田 京三	いけ 益栄	妻

「六カ月間を振り返りかえって」

大館周辺市町村消防本部 菅原和幸

九日の入校式。私は、一年間の勤務経験があったが、一人前の消防職員として第一線の現場に立つためには、この初任教育課程を無事に修了しなければならぬ。というのと同時に、生涯を通じての消防仲間をつくりたいと思った。

日々の授業の他にも、オリエンタリング、バーベキュー、鳥海山登山、先遣地研修といった行事のおかげで、この六カ月間を楽しく

「過」すことができた。また、寝食を共にした寮生活、同じ食事をし、同じ場所であるこの生活は互いの性格を理解するだけでなく、これからの夢を語りあうには十分な時間であった。

季節は春から秋と移り変わったが、二十八名の消防に対する共通の思いは変わらないはずだ。これからそれぞれの誓所へと旅立っていくわけだが、この六カ月間が輝かしい日々であった

新団長紹介

河辺郡河辺町消防団 団長 鈴木正勝

(すずき まさかつ)

昭和九年五月二十日生まれ、六十九才。昭和四十年四月一日入団、班長、部長、副分団長、分団長、副団長を経て平成十五年十月一日付で団長に就任。(農業)

株式会社 高義商会

トータル消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

トータル小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
スプリンクラー
消防被服 各種
消防器具 各種
消防器具 各種

〒012-0111 本社 秋田県福川町 電話(0183)(42)2125
〒012-0844 支店 湯沢市市町 電話(0183)(73)2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ
トータルポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検

キンバロース
パイロポンプ
各種消火器

猿田興業株式会社

地域の防災、災害対策に貢献!

消防ポンプ自動車
小型ポンプ
ボース

設備 火災報知器
スプリンクラー
消火器

秋田市山王六丁目10番9号 TEL018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX018 (824) 3651

修了生名簿

所属	本部	氏名
秋田	市	消防士 加藤 秀樹
秋田	市	消防士 藤野 佑介
秋田	市	消防士 和賀 研久
秋田	市	消防士 鷹島 太和
秋田	市	消防士 佐藤 順也
秋田	市	消防士 渋谷 嘉直
秋田	市	消防士 齋藤 大樹
秋田	市	消防士 柴田 航
秋田	市	消防士 黒木 正剛
秋田	市	消防士 利部 孝司
秋田	市	消防士 西村 央規
鹿角	広域行政	消防士 田中 晴
鹿角	広域行政	消防士 成田 紀
大館	周辺広域	消防士 菅原 幸彦
大館	周辺広域	消防士 高橋 友彦
鷹巣	阿仁広域	消防士 佐藤 一彦
二ツ井	藤里地区	消防士 工藤 美徑
二ツ井	藤里地区	消防士 安井 健哉
能代	地区	消防士 大塚 健仁
能代	地区	消防士 鎌田 文成
山本	南部地区	消防士 関 恒史
湖東	地区	消防士 吉田 史
湖東	地区	消防士 奈良 拓史
男鹿	地区	消防士 大関 貴博
男鹿	地区	消防士 三浦 智輝
仁賀保	地区	消防士 茂木 邦彦
仁賀保	地区	消防士 須田 亘
矢島	地区	消防士 赤川 俊

平成十五年年度の消防職員初任教育第五十七期生修了式が十月三日秋田県消防学校において来賓、父兄を迎えて行われた。

この初任教育課程は、本県常備消防の将来を担う各消防本部の新規採用職員等を対象に行っているもので、この日修了式を迎えた学生は二十八名で本年四月九日に入校し、消防に関する基礎知識及び実技等六ヶ月の厳しい訓練に耐え、自ら練成し、所定の全課程を履修した。

修了式は、高橋学校長から修了及び救急手当上級救命講習修了証が、今野総合防災課長から危険物取扱者免状がそれぞれ授与された。

続いて高橋学校長の式辞、知事(代理)のあいさつ、来賓として秋田県消防協会長、奥山消防協会長の祝辞があった後、修了



秋田県消防学校校長 高橋 明

生を代表し秋田市消防本部 加藤秀樹消防士が「住民の信頼と期待に応えられる消防職員になることを誓います。」と力強い答辞を述べた。

本県消防の新しい精鋭として巣立った二十八名の所属、氏名は次のとおりであり、今後の活動を期待します。



祝初任教育修了式

平成十五年年度 消防職員初任教育修了式

秋田県消防学校

自然の恵

壮大な規模のブナ林で覆われた白神山地の森をゆっくり流れ落ち、ろ過された天然の水を「白神山水」として販売されている。

この「水」の特徴は、現在販売されている天然水の多くと違い「非加熱」でそのまま飲めるという大きな特性を持っており、その豊かなカルシウムやマグネシウムが誇りとされている。

・取水

標高600m以上の斜面岩盤部から、横ボーリング方式により集水された原水を空気に触れることなく直接生けいへ送水する。

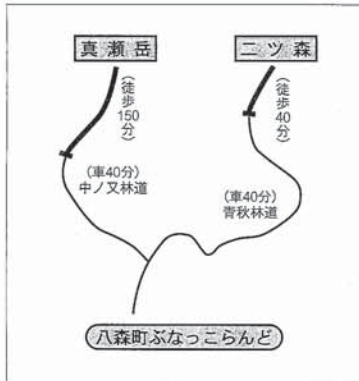
・ろ過

原水は、セラミックろ過フィルターを使用非加熱ろ過で無菌化される。

・活性
「高密度磁束活性水装置」により活性されたのちボトリングされる。



藤里コース



八森コース

◎秋田県側



太古の森。

世界自然遺産

白神山地紹介

- 会 員 (消防団・職員・消防関係者)
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
 - ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000
- 一般のお客様
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
 - ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテルあきた

秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内)電話018(832) 4111

- 森田ポンプ
- ラビットポンプ
- 桜ホース・ソフト吸管
- 消防被服一式
- 各種消火器
- 消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 016-0846
TEL (0185) (52)6361
(52)6494

消防団員のための

消防互助年金

10年確定年金

10年保証終身年金

特別年金

年金は毎年3%複利で増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

消防秋田

〒010-0001
秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協会
会長 島田 康二郎
電話 018-832-3791
FAX 018-834-2706
印刷 〒010-0953
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

平成十五年 秋の叙勲発表

消防関係十六名が栄誉に輝く

平成十五年度秋の叙勲が文化の日の11月3日に発表された。

晴れの叙勲に輝いた本県消防関係者は、次の16名の方々であり、11月5日秋田キャッスルホテルにおいて知事から叙勲の伝達が行われた。なお、11月6日日本消防会館ニッショーホールにおいて、消防庁主催の式典が行われ受賞者は参列後皇居にて天皇陛下に拝謁された。

受賞された皆様は心からお祝い申し上げます。



- ### 瑞宝双光章
- 元南外村消防団団長 佐藤 庄司 (71)
 - 元横手平鹿消防本部消防監 高橋 金蔵 (75)
 - 元横手市消防団団長 寺田 博壽 (75)
 - 元本荘市消防団団長 三浦 智 (69)

- ### 瑞宝単光章
- 元仁賀保地区消防団分団長 池田 昭二郎 (74)
 - 元横手市消防団分団長 伊藤 勇 (78)
 - 元琴丘町消防団分団長 鎌田 薫 (72)
 - 元矢島町消防団団長 木村 一義 (71)
 - 元五城目町消防団副団長 工藤 鐵雄 (69)
 - 元鷹巣町消防団分団長 小前 清次 (76)
 - 元皆瀬村消防団分団長 佐藤 英次 (73)
 - 元稲川町消防団団長 佐藤 源助 (72)
 - 元雄物川町消防団副分団長 佐藤 三十郎 (76)
 - 元河辺町消防団副団長 関 清秋 (72)
 - 元湯沢市消防団副団長 樋渡 誠一郎 (72)
 - 元神岡町消防団分団長 渡部 忠雄 (74)

- | | | | |
|--------------|---------|--------------|------|
| 大館市消防団団長 | 小畑 守 | 仁賀保地区消防団副分団長 | 渡辺 優 |
| 大館市消防団副団長 | 安達 洋三 | 神岡町消防団副分団長 | 渡辺 健 |
| 能代市消防団副団長 | 山田 諭 | 太田町消防団副分団長 | 高松 義 |
| 五城目町消防団副団長 | 大石 壽信 | 増田町消防団副分団長 | 小高 義 |
| 五城目町消防団分団長 | 佐々木 久米雄 | 雄物川町消防団副分団長 | 小高 山 |
| 八郎潟町消防団分団長 | 三戸 留吉 | 雄物川町消防団副分団長 | 小高 山 |
| 仁賀保地区消防団副分団長 | 佐々木 伸一 | | 小高 山 |



平成16年度 消防庁予算 概算要求の概要

(日本消防十一月号より抜粋)

消防庁は平成16年度の概算要求を公表した。それによると、要求総額は270億4千6百万円で対前年比16・7パーセントの伸びとなった(前年度当初予算231・170百万円)。

主な事業のうち、消防補助負担金をみると203億4千9百万円で、前年度に比べ28億7百万円の増、16・0パーセント増となっている。

内訳は、ヘリコプター、消防ポンプ自動車、消防救急無線等緊急消防援助隊関係設備が60億円、防災無線、消防団・自主防災組織に係る活動用資機材等が53億9千8百万円となっている。

消防補助負担金予算概算要求額 (単位:百万円、%)

事 項	15年度 予算額 (A)	16年度予算 概算要求額 (B)	比 較 増減 (B)-(A)(C)	対前年度比 (C)/(A)	備 考
1. 消防防災施設整備費補助金	5,951	6,096	145	2.4	・緊急消防援助隊関係施設 100 (490) ・耐震性貯水槽・防火水槽 3,400 (3,430) ・高機能消防指令センター整備 2,427 (887) 等
2. 消防防災設備整備費補助金	11,591	8,854	△2,737	△23.6	・緊急消防援助隊関係施設 6,000 (4,319) ・消防ポンプ自動車 1,532 (1,765) ・高規格救急自動車・資機材 552 (1,106) 等
3. 消防防災設備整備費負担金(国民保護関係)	0	5,398	5,398	皆増	・自主防災組織活性化事業 300 (200) ・高機能情報通信対応防災無線 2,391 (1,504) ・消防団総合整備事業 2,707 (1,634)
合 計	17,542	20,349	2,807	16.0	

(注) 備考欄()内数値は平成15年度予算額で、消防団総合整備事業については補助メニュー改正前の合計数値を計上。端数処理により、合計欄が一致しない場合がある。

指導員研修

平成15年度「消防団員指導員研修」が10月25日(土)から27日(月)の3日間県消防学校において実施された。

この研修は、地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団員の教育訓練の指導にあたる者を養成することを目的に日本消防協会の委託事業として、県消防学校の協力を得て消防協会が毎年行っているものであります。

なお、研修の実施にあたって、例年秋の農作業が一段落する10月下旬を目処に平日の3日間で行われておりましたが、サラリーマン団員や兼業農家の団員が仕事を休んで受講することが困難であるため休日を活用した開催にしてほしいとの要望があったので、今年度初めて休日を含んだ実施となりました。来年度開催についてもご意見を伺いながら対応してまいりたいと考えております。

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 Ⅱ(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 Ⅱ(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市田町 Ⅱ(0183)(73)2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンバイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX018 (824) 3651

第十六回全国女性操法大会 山本町婦人消防隊出場



堂々の入場行進

日本消防協会主催の第16回全国女性消防操法大会が10月23日神奈川県横浜市の横浜消防訓練センターにおいて、都道府県代表47チームが出場し、女性操法日本一を目指して熱戦が展開された。

大会当日は、雷をともなう猛烈な雨に見舞われた前日と打って変わり、秋晴の絶好のコンディションのもとで日頃の訓練の成果を競い合った。

本県代表の山本町婦人消防隊は、第15回(平成13年大会)に次いで2度目の出場であり、大会の雰囲気に入場することなく堂々の入場行進を行い競技に望んだ。

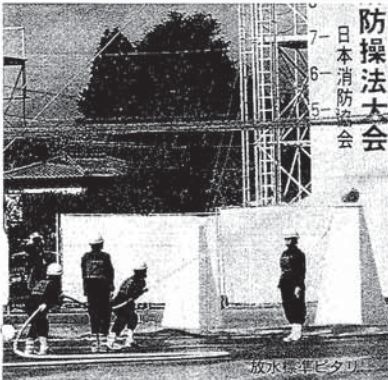
選手の方一言

指揮者 金子 咲子



秋田県協会からの推薦という形で出場が決まり、毎日仕事が終わってからライントをつけての練習。結果は47県中14位、入賞まであと2チーム越せば、あと、1秒タイムが良ければと思う気持ちがありますが自分たちとしては満足は行く操法が出来たと思っております。一生懸命に指導、協力いただいた皆さまに心から御礼申し上げます。

(二番員) 三村 幸子



日本消防協会
防操法大会

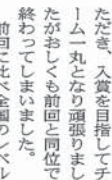
放水操法ピタリ

(三番員) 今野 和美



力及ばずの結果でしたが、今回は年齢を感じてしまいました。ご指導下さった消防署の石井さん、安藤さん、木戸沢班の皆様本当にありがとうございます。

(三番員) 嶋田 和子



思いもしなかった2度目の全国大会出場のお話を聞いたとき、入賞を目指してチーム一丸となり頑張りましたがおしくも前回と同位で終わってしまいました。前回に比べ全国のレベル

(四番員) 高崎 厚子



リハールで雨に打たれた前回の大会を思い出しました。大会当日は雨もやみ47チーム45番目、前回は2番目の出場でした。他チームのタイム、得点を聞き、緊張感がましてしまいました。入賞できませんでしたが、この経験をこれからの私達の活動に生かしていきたいと思います。

(補助員) 嶋田セキ子



全国大会は2度目の出場ですが、いつでも本番は緊張します。みんな忙しいうちによく頑張ったと思います。これからもこの仲間いろいろな活動をしていきたいと思っております。私達をご指導、ご協力下さいました方々本当にありがとうございます。



余裕の待機

平成15年度 防火ポスターコンクール募集

- 目的 少年少女の防火意識を高めるとともに、この作品により一般市民の防火思想の普及向上をはかることを目的とする。
- 主催 秋田県・(財)秋田県消防協会
- 後援 秋田県教育委員会・秋田県新聞社
- 募集規定
 - ポスター
 - 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること。
 - 大きさはB版(四つ切大、55cm×37cm)であること。
 - 一人一点とする。
 - 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
 - 募集期間 平成15年11月1日～12月31日(12月31日の消印有効)
 - 審査 秋田県・秋田県新聞社・(財)秋田県消防協会および学識経験者の協力を得て厳正に行う。
 - 入賞発表 平成16年2月上旬頃、秋田県新聞紙上にて発表。
 - 賞 与 次の入賞者には、賞状と賞品を贈呈する。
 - 小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作若干名
 - 中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作若干名
- 応募条件
 - 応募作品はお返ししません。また、入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。
 - 応募規定に違反した作品は採用いたしません。
 - 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した名札(たて6cmよこ20cm)を向かって右下に必ず貼り付けてください。

【記入例】

市町村名	学 校 名	
	(ふりがな)	性別
学 年	氏 名	

6. 送り先 〒010-0001 秋田市中通4丁目3番23号
(財)秋田県消防協会 まで

お問合せ先 TEL018-832-3791

- 会 員(消防団・職員・消防関係者)
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
 - ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000
- 一般のお客様
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
 - ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
 - ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテル 秋 田

秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内)電話018(832) 4111

- 森田 ポンプ
- 桜ホース・ソフト吸管
- 各種消火器
- ラビットポンプ
- 消防被服一式
- 消防機器一式

株式会社 協 立 株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

- 消防半天・帯・団旗
- 優勝旗・ゼッケン
- 手拭・タオル・のれん
- 旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

消防秋田

創刊 初代会長 松野 隆吉
発行 毎月1部 5円
(購読料は年会費1を含む)
〒010-0001
秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協会
編集 松野 隆吉
電話 018-832-5791
FAX 018-834-2706
印刷 〒010-0951
秋田県庄内7丁目5-29
株式会社 松野印刷社
電話 018-862-8760

自治体消防五十五周年記念大会

つなごう 愛・勇気・ちから

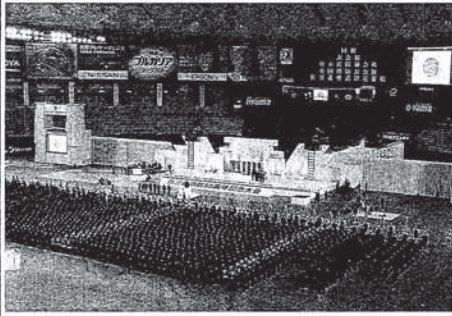
自治体消防五十五周年記念大会が、十月二十日東京ドームにおいて、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国の消防関係者など三万五千人が参加し盛大に開催されました。

大会当日は、生憎の小雨模様のため東京ドーム入場ゲート前は、七時三十分の入場開始に合符集した参加者で一時混雑となったが、規律を旨とする消防関係者らしく整然と入場を開始した。本県からの参加者五百十余名は、一層側二階席に陣取り開会を待った。

午前十時、アリーナ外野付近の特設ステージ左右の火の見櫓の半鐘が打ち鳴らされ開会を告げられた。

三万五千人の制服姿が見守る中、大会テーマソングである「きみを守るフーイーバー」を演奏するなか参加者を代表し日本消防協会役員を先頭に女性消防団、各都道府県代表団が堂々の分列行進を行いステージ前に整列した。

本県代表団(会支部代表者)は、旗手車野中仙町団長他四十名が、宮城県代表と四列縦隊で、糸乱れめ行進を行った。ほどなく、国旗大会旗、日本消防協会旗、全国消防協会旗が入場し、センターホールに高々と掲揚された。消防殉職者に



対し黙祷を捧げた。やがて、天皇皇后両陛下がご臨席され、井上日本消防協会副会長の開会の辞に続き、平尾昌晃指揮する消防音楽隊によるファンファーレ、岡本知高(フジフラスゴ)が「君が代」を東京ドームが割れんばかりに独唱された。

主催者を代表し、日本消防協会徳田会長が、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ記念大会が挙行される上での喜びである。

二十一世紀を迎え、災害の態様は複雑多様化を強めている。この大会を機に消防人のもっている「愛、勇気、ちから」を未来に伝え安全な日本を築いてほしいと、

この式辞を述べられた。天皇陛下から「自治体消防発足以来、国民の生命、財産を守るため長年にわたる関係者の身を挺しての努力に感謝するとともに、今後とも地域社会の安全のため、力を尽くしてほしい」とのお言葉があった。

続いて、特別来賓の小泉純一郎内閣総理大臣、倉田寛之参議院議長、町田顯高裁判所長官からそれぞれ祝辞がありました。

会場は、特別演技に移り幼年消防クラブ(園児)一三一人で編成する鼓笛隊が三層側外野出入口、一層側外野出入口からそれぞれ入場し、真白い服装でドリル演奏し、行進する姿は愛らしく可愛らしかった。

その後、女性消防団音楽隊(各地代表合同チーム)演奏、幼年消防クラブ(園児)代表、婦人防火クラブ員代表による2メートル四方のポードを二〇枚並べ巨大な「はしご消防車」を描き、大会スローガンを大書きした横断幕を巨大面にそって掲げ、これを五十五台の赤バイ隊が赤色灯をつけて一列縦隊で進行入場。巨大面を半円で見立て整列し、消防少年団員代表八人が「先人がつちかてきた消防活動を私たちが受け継いでいくことを誓います」と述べた後、天皇皇后両陛下がご退席され、厳粛に引き続いて二部に移り、消防団ラッパ及び音楽隊によるドリル演奏、世界義勇消防連盟参加団代表の紹介、そして二部の「メイン」である都道府県別参加者紹介として、お国自慢の歌「ドレーク」がタレント秋本欽一(進行司会)の進行で、道庁代表の各都道府県を代表する歌の一曲が披露された。本大会は「秋田音頭」で大合唱した。締めくくりに、参加者全員による大ウェーブが沸き起こり、消防の団結と連帯感が会場一杯湧き溢れ、続いて、アリーナでは女性消防団

女性消防団(操法)による演技、そしてファイナルは、幼年消防クラブをはじめ多数の参加者が「きみを守るフーイーバー」サンパ調に合せダンスを踊り、最後は、全員で手を繋ぎ大きな輪となつて大会スローガン「つなごう愛・勇気・ちから」を表現し、大会宣言を行い終了した。

なお、この記念大会の総括司会は、NHKアナウンサー堀尾正明、歌手ジュディ・オングのお二人によって進行された。

小雨模様の十一月二十日、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、厳粛な空気のなか、さうららしい感激と感動の中であつてくれた記念大会、あらためて消防関係者としての自覚と意識が心の中から沸き起こり、これからの消防活動により一層精進する事、これをほどまで心に誓つたことはございません。

又こうした大会に巡り合った事の充実感としみじみ感謝しております。

前回(四十五回大会)も分列行進に参加しましたが、大会全体の様子が見えなかつたこともあり、今回は湯沢市の参加団員が写したビデオを拝見し大会のすばらしさに再度感動した次第です。前回(三十五

七月三日湯沢市で開催された秋田県消防大会の役員会にて、自治体消防五十五周年記念大会の旗手を務める半年余り、言われてから四ヶ月半余り、十一月二十日より上野東京ドームでの大会だ、当日の朝六・〇〇にホテルを出発し一路ドームの三番ゲートに向かひながら全国から集まつた制服姿の消防団が多くなかなか歩けない、やつの思いで、たどり着き、分列行進が始まる。待機場所へ事務局長の案内のもと二十五番口に向い青森、岩手の次に宮城と並んでリハールを待つ北

草 薊 忠 誠
県協会監事

海道を先頭にしてグラウンドの中へと進むが、会場の大きさや、三万五千人もの視線に圧倒されて、方向感覚がなくなり、たぐらうドームの後について行くだけで、本番に向けての説明を受け再び待機場所に移りリハールは、まともに見えない隊形が多く見られたが、さすが消防人、本番となる、見違える、堂々として、分列行進する。

二〇〇〇人余りの分列行進が終了した後、式典が始まるが、ボランティア的な活動をしている消防

の全国大会とあつて、天皇皇后陛下のご来臨、そして内閣総理大臣をはじめ三種の長のご臨席のもと厳粛に行われ意義深く感動の身ひきまされる思いでした。

四十五周年、五十五周年、五十五周年と三回参加しておりますが、今回は分列行進の旗手を努めさせていただきました。誠に光栄に存じます。

最後に一言「秋田県消防協会旗は本当に重かつた下さしました皆様から感謝申し上げます。

トーマツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服 全理
秋田県代
総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーマツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- トーマツト服器各種
- 消防被服
- 消防器具
- 消防火器
- 消防火器

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 町(0183) (42)2125
〒012-0844 支店 湯沢市田町 町(0183) (73)2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーマツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キバ
- パル
- イホ
- スポン
- 各種消火器

地域の防災、災害対策に貢献!

消防 設備

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

平成十五年度全国統一防火標語 その油断 火から炎へ 災いへ

記念大会に参加して

奥山利八
県協会副会長

回大会は、後楽園球場で開催されましたが三度目の球場入りです。その意味ではグラウンドの中での行動に少しは余裕があり非常に得がたい体験もしてきました。まずドームのマウンドに立ちホームをみつめ、パターボックスにかまえること、三つ目は特に大規模火災等の場合、常備消防と消防団がそれぞれ特徴ある防災活動する事が非常に有効である等、今後地域防災の方向付けを示唆されたものと受け止めてまいりました。以上二日に亘る大会に参加し所感を申し上げ報告と致します。

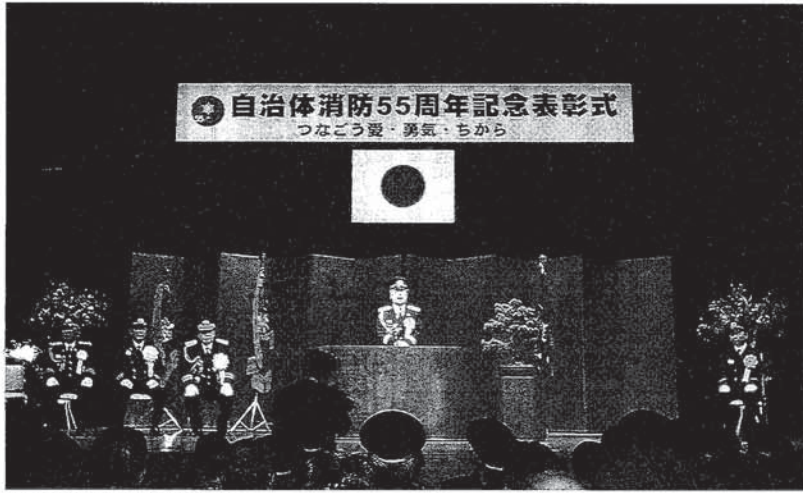
自治体消防 五十五周年記念表彰式

十一月十九日 於・日消会館

自治体消防五十五周年記念表彰式が、記念大会に先立って、十一月十九日午後一時三十分から日本消防会館ホールにおいて行われた。

本県の受章者は次の方々でありましたが、表彰式には受章者を代表し、日本消防協会会長特別功労章を受章した奥山利八湯沢市消防団長(奥様同席)、消防団員家族表彰を受けられた、成田俊昭小坂町消防団副団長、伊藤信男湯沢市消防団副団長が参列した。

なお、柴田県協会は、日本消防協会副会長として表彰式の閉式の辞の大役を務められた。



閉式辞を述べる柴田県協会会長



指揮を執る奥山県協会副会長(右端)

総務大臣表彰 奥山副会長受章

総務省は、長年にわたり消防活動や火災運動に尽力した十八名を平成十五年度の消防功労者として総務大臣表彰を行った。

本県からは、奥山利八湯沢市消防団長(県消防協会副会長)が晴れの栄誉に輝き、十一月二十六日東京都総務省講堂において受章された。

なお、奥山副会長は受章者代表謝辞を述べられた。

本県の総務大臣(旧自治大臣)表彰は、昭和六十三年度表彰制度創設以来、平成四年度・奥山昭通副団長、同八年度・渡部十文字町団長、同十年度・蒔苗大館市団長、同十三年度・寺田横手市団長に次いで五人目の受章である。

なお、奥山副会長は去る十一月十九日、自治体消防五十五周年記念表彰式において、日本消防協会会長特別功労章を受章し、消防団に受けられました。心からお祝申し上げます。

◎日本消防協会会長表彰

- ◎特別功労章
 - 秋田県消防協会副会長 湯沢市消防団副団長 奥山利八
- ◎功績章
 - 鹿角市消防団 副団長 阿部文一郎
 - 上小阿仁村消防団 団長 齊藤博臣
 - 能代市消防団 副団長 松谷福三
 - 五城目町消防団 副団長 宮城清之助
 - 秋田市消防団 分団長 小野金一
 - 河辺町消防団 分団長 佐々木聖紘
 - 大内町消防団 副団長 鈴木忠
 - 西仙北町消防団 副団長 佐々木康之
 - 横手市消防団 分団長 山田松太郎
 - 稲川町消防団 副団長 麻生俊一
- ◎永年勤続功労者表彰
 - 能代市消防団 副団長 幸坂正
 - 湯沢市消防団 副団長 伊藤勝美
- ◎婦人消防隊育成功労者表彰
 - 山本町婦人消防隊 金子咲子

◎全国消防長会会長表彰

- 能代地区消防一部事務組合 消防本部 袴田司
- 湯沢市消防団 分団長 新田庄一郎
- 湯沢市消防団 副分団長 金森市郎
- 湯沢市消防団 部長 小松徳藏
- 湯沢市消防団 班長 松田健一郎
- 岩城町消防団 分団長 新田庄一郎
- 湯沢市消防団 分団長 新田庄一郎
- 湯沢市消防団 副分団長 金森市郎
- 湯沢市消防団 部長 小松徳藏
- 湯沢市消防団 班長 松田健一郎
- 湯沢市消防団 分団長 新田庄一郎
- 湯沢市消防団 副分団長 金森市郎
- 湯沢市消防団 部長 小松徳藏
- 湯沢市消防団 班長 松田健一郎

◎日本防火協会会長表彰

- ◎優良幼年消防クラブ
 - やまばと保育園幼年消防クラブ
- ◎優良婦人防火クラブ
 - 本荘市赤田婦人防火クラブ



●会 員 (消防団・職員・消防関係者)

- ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
- ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
- ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000

●一般のお客様

- ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
- ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
- ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテルあきた

秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内)電話018(832) 4111

森田 ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016-0846
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

消防団員のための
消防互助年金

10年確定年金 10年保証終身年金

特別年金 年金は毎年3% 複利で増

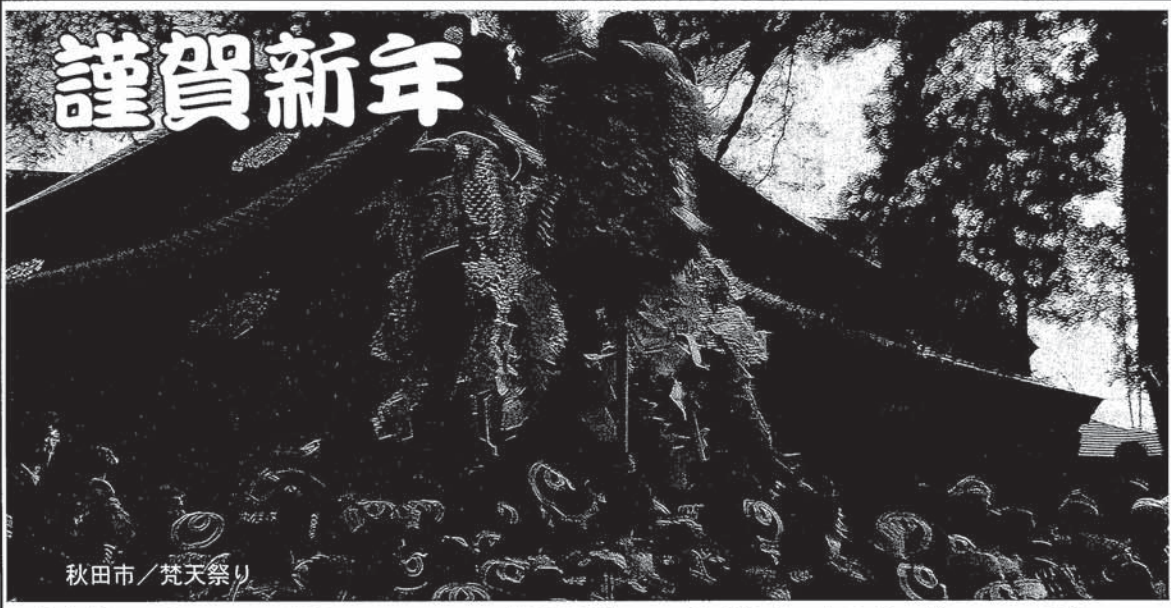
年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ



原 字 初代会長 松野 盛 吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人 〒010-0001
秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協会
会長 柴田 康二郎
電話 018-832-3791
FAX 018-834-2706
〒010-0001
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-5760

謹賀新年



秋田市／梵天祭り

新年のご挨拶

秋田県消防協会
会 長 柴 田 康 二 郎



明けましておめでとうございませう。
平成十六年の輝かしい新春を迎え、全県消防関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

日頃、消防団員・消防職員の皆様には防災の第一線に立ち火災をはじめ各種災害から地域住民の安全を守るため、日夜献身的な活動を

おこなっていただいております。平成十六年の輝かしい新春を迎え、全県消防関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

躍されておられますことに対し心から感謝と敬意を表する次第であります。また、協会の運営にあたり平素より多大なご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。さて、昨年は自治体消防発足五十五周年の記念大会が東京ドームにおいて、天皇・皇后陛下ご臨席のもと盛大に開催されました。本県からも多数の消防団員・消防職員が参加され、消防人としての誇りと責任の重さを感じられたこと存じます。私も郷土愛護の消防精神を未来に伝え、安全で安心して生活できる地域社会を築いてゆくことを改めて心に誓ったところであります。

わが国は、長い歴史の中で幾多の災害に見舞われ甚大な被害を受けてまいりました。特に、風水害や地震等、自然災害は依然として後を絶たず国民生活に大きな不安を与えております。昨年に於ける全国の災害状況を見ますと、火災等人的災害も多く発生しておりますが、特に九州地方を襲った集中豪雨、そして宮城県沖や十勝沖で発生した地震などの大規模な自然災害は多大な人的、物的被害をもたらした自然の脅威を改めて



てみせつけられた一年でありました。九州地方の集中豪雨では避難活動中土石流に遭遇し、三名の消防団員が殉職するなど尊い多くの人命を失いました。本県においても、梅雨前線の雨による農作物などがの被害が発生しましたが、比較的平穏な一年でありました。しかし、災害はいつ、どこで、どんな規模で発生するかなんて予想することは困難であります。このため、われわれ消防人は常に知識の向上に励み、体力、気力の増強と技能の錬生に努め、近代消防として如何なる災害にも対応できる体制を確立しておかなければなりません。団員各位はもとより、消防関係者の一層のご協力とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年の始めにあたり、災害のない平穏な年でありませう、また、全県消防関係者の皆様にはご家族ととも健康やかな年でありますことをお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

新年を迎えて

秋田県知事 寺田 典 城



新年あけましておめでとうございます。

全県の消防関係者の皆様には、気持ちも新たにすがすがしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。皆様には、日夜危険を顧

みず、県民の生命、身体、財産を守るため職務に精励されておりますことに対し、深く敬意を表します。昨年は、米の不作や北海道・東北地方の数回にわたる大地震、ヤンキース松井選手活躍、阪神タイガース十八年振りの優勝、大相撲の豪風関の活躍、イラクを巡る状況など、国内外ともに明暗様々なことがありました。こうした中、経済・雇用情勢はなかなか好転せず、社会に閉塞感をたらしめております。これは

社会の構造改革が進まないことが大きな要因だと感じますが、一方で経済のグローバル化や情報化の進展により、地方にとっては可能性に満ちた、より広がりのある社会が到来していると思えます。政府には国の舵取りをしっかりと行うよう要望しつつ、改めて、思い切った地方から変えていかなければいけないとの意を強くしております。

県政全般については、昨年四月に元氣な秋田づくりを目指す「あきた21総合計画第二期実施計画」をスタートしました。この計画の具体策として、十六年度は、自立型産業の育成と若年者を中心とした総合的な雇用対策、男女共同参画社会づくり、「安全・安心」な暮らしができる環境整備などを重点施策として推進していきます。また、四月には「国際教養大学」が開学します。将来の秋田を担う人材がここから数多く巣立っていくことができる、そういう大学を目指しております。どうか皆様から力強い御支援をお願いいたします。今年、市町村合併がいよいよ現実のものになっていく歴史的にも大きな節目の年であり、国と地方の役割や財政を根本から見直し地方分権を本格的に進め

秋 田 県		消 防 協 会		消 防 学 校		総 合 防 災 課		出 納 部		知 事 室											
主 席	監 事	理 事	副 理 事	主 席	主 査	主 査	主 幹	出 納 長	副 出 納 長	副 知 事	知 事										
同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長	同 務 局 長										
石 山 和 美	大 信 田 孝 康 子 雄	吉 田 謙 廣	中 野 忠 誠	草 野 信 一	古 川 東 一	袴 田 喜 代 治	里 見 雄 彦	島 海 将 之 助	村 井 正 一 昇	米 沢 将 之 助	鈴 木 正 之 助	高 橋 博 久	齋 藤 久 臣	永 井 雄 康	五十 嵐 謙 康	今 野 松 潤 八	中 野 泉 助	中 野 泉 助	奥 山 利 康	柴 田 康 二 郎	
大 工 野 光 徳	大 塚 善 徳	佐 藤 樹 磨	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳	伊 藤 善 徳
関 口 夫	大 戸 彦 夫	小 山 好 造	豊 田 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎	今 野 治 五 郎
川 辺 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫	品 田 征 夫	西 田 哲 夫



新年頭のごあいさつ

秋田県総務部長 川辺 征夫



と旺盛な責任感を持って、日夜消防の任務遂行に御尽力されておられましたことに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、全国で地震が頻発することがあげられます。二十年前、県内に多くの犠牲者と被害をもたらした日本海中部地震が発生した五月二十六日と同じ日に、宮城県沖を震源とする地震、その二か月後の七月二十六日には宮城県北部を震源とする地震が、さらにその二ヶ月後には十勝沖地震

新年頭のごあいさつ

校長 高橋 光男



平成十六年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素から、地域防災力の要として、獅子奮迅の御活躍をしており、消防協会として、心から敬意を表します。消防防の任務は、申すまでもなく、地域における第一線の活動機関として、火災はもとより、風水害等による災害を防止し、地域住民の安全を守ることにあります。今日まで、幾星霜を重ね、消防団の名譽ある伝

する痛ましい事故もこれまでに、少なく多く発生するなど、消防関係者にとっては誠に厳しい一年でした。

一方、昭和十三年に自治体消防が発足してから五十五年目という節目の年で

新年頭のごあいさつ

副会長 奥山 利八



哀心より敬意を表するものであります。

昨年は消防行事の多い多忙な年でした。十一月二十日の自治体消防発足五十五周年記念大会を最大行事とし、他にも七月三日の県消防大会が過渡期で、翌八月には一部総合防災訓練も実施し、まさに五十五年の節目に大々足跡を残したのもと思っております。天皇皇后陛下、ご臨席をいただき、東宮ドームでの式典

新年頭にあたって

副会長 中泉 松之助



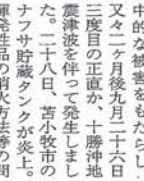
平成十六年の新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、日頃、火災をはじめとする各種災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため日夜献身的に活動されていることに、心から感謝を申し上げます。心から感謝を

危険性も指摘されており、消防機関には、こうした過去に例を見ない災害等の発生に対して、迅速且つ有効な対応が求められており、消防防体制の充実強

新年頭のごあいさつ

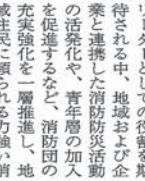
副会長 中田 潤



地に予想外の大規模災害が多発し、八月には異常高温により欧州各地で山林火災が、又、北波により一万人以上が死亡者が出るありまで自然環境破壊が一段と懸念されております。我が国も例外でなく、七月には

新年頭のごあいさつ

副会長 中田 潤



平成十六年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様へ、新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、火災をはじめあらゆる災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため、献身的に活動されていることに対し、深く敬意を表します。

終わりに、皆様の御健勝と本年が災害の少ない平穏な一年でありますよう、心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年頭のごあいさつ

副会長 中田 潤

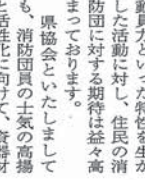


改めまして申し上げます。

さて昨年の災害を顧みると、国内では、あの二十年前の日本海中部地震を思い起こすような地震が三度も発生し、宮城県や北海道に大きな被害を与えました。また九州では記録的豪雨により、消防団員三名殉職という痛ましい災害、更に日本を代表する大企業で、人災とも思われる大型屋外タンクやタイヤ工場など、大規模火災の連続発生、そしてまた消防史発名が殉職するような火災現場の崩壊やゴミ固形燃料発電所の燃焼なども発生しております。

新年頭のごあいさつ

副会長 中田 潤



このように地域住民の安全を脅かす各種災害の発生は後を絶たず、その災害感も大規模かつ予想しがたい傾向にあります。

このように、消防団を取り巻く環境も年々厳しさを増し、一向に回復しない経済状況、過疎化による消防力確保の難しさ、市町村合併等様々な課題を抱えておりますが、大災害時における消防団の地域密着や動力力といった特性を活かした活動に対し、住民の消防団に対する期待は益々高まっております。

平成16年 防災の誓い新たに！ 全県市町村で勇壮に出初式



鹿角市消防団まとい演技

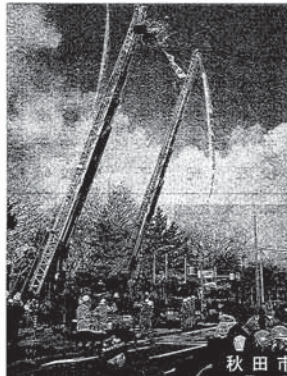
新春を飾る恒例の消防出初式が、一月四日秋田市をはじめ、山本町、上小阿仁村、協和町、大雄村などを皮切りに県内各市町村の消防団(職)員および消防関係者多数参加で行われた。

各市町村の会場では、消防団(職)員の家族をはじめ地域住民が見守る中で、分列行進、車両パレード、くす玉割や消防太鼓、まとい演技、放水等が披露され、防災への決意を新たに盛大に行われた。

その後、永年勤続者や消防活動に協力した一般市町村民などに知事および県協会長表彰が行われた。



男鹿地区消防本部音楽隊



秋田市出初式



〒010-0951 秋田市山王2丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

平成十五年度全国統一防火標語
その油断
火から炎へ
災いへ

- 秋田県・秋田県消防協会** は、永年にわたり消防の職務に精励し、消防の使命達成に尽力された市町村の消防団(職)員および関係者の方々の功労に報いるため、毎年市町村の出初式において表彰を行っている。平成十五年度受賞された方々・団体は、次のとおりです。
- 秋田県知事表彰**
- 有功章
 - 鹿角市消防団 副団長 佐藤 重光 外二八三名
 - 永年勤続功労賞
 - 飯田川町消防団 団長 藤田剛太郎 外八八名
 - 三十五年以上
 - 昭和町消防団 団長 藤原 武雄 外六九名
 - 藤里町消防団 団長 淡路 龍美 外三八〇名
 - 二十五年以上
 - 八竜町消防団 団長 佐藤 良廣 外四五四名
 - 増田町消防団 分団長 鈴木 敏美 外五七五名
 - 消防協力者
 - 消防施設整備協力者 増田町 高橋 岩治
 - 火災予防運動協力者・個人 大館市 関 喜一 能代市 谷内 一郎

平成十五年度 消防功労者表彰

新団長紹介



(すずき・よしとろ)

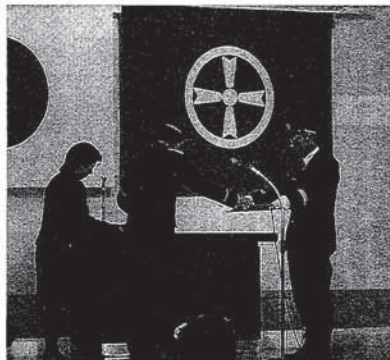
昭和十九年七月一日生まれ五十九才、昭和四十一年四月一日入団、班長、副分団長を経て平成十六年一月一日団長に就任(建設業)



(おく・ひさお)

昭和十九年十月五日生まれ五十九才、昭和四十一年一月一日入団、班長、副分団長、分団長、副団長を経て平成十六年一月一日団長就任(農業)

- 秋田県消防協会会長表彰**
- 功労章
 - 二ツ井町消防団 副団長 加藤 建一 外二〇四名
 - 顕功章
 - 元右美町消防団 団長 鈴木 新 外一〇八名
 - 有功章
 - 五城目町 椎名吉五郎 団体
 - 大館市小館町火災予防組合
 - 増田町火災予防組合
 - 鹿角市 乳牛子供会
 - 勤続章
 - 稲川町消防団 分団長 古関 恒幸 外六四三名
 - 精勤章
 - 矢島町消防団 副分団長 相庭 裕之 外八四三名



功労者表彰式(秋田市)

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服 代理店
秋田県

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ホース
- マジックジャケット
- 防火被服
- 各種消防器具
- 各種消防器具

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 町(0183)(42)2125
〒012-0844 支店 湯沢市田町 町(0183)(73)2588

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンバイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

地域の防災、災害対策に貢献！

消防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

平成15年度 防火ポスター入選作

平成十五年度防火ポスターコンクール(主催:秋田県・秋田県消防協会、後援:秋田県教育委員会、秋田県新報社)の入選作が決まりました。

県内の小・中学校を対象に防災意識を高めてもらうべく毎年行っており、三十四回目の今年も小学校の部は三十三点、中学校の部は二十九点の応募があり、審査の結果、次の皆さんが入選されました。

●審査員(佐々木信吾)
 ○小学校の部
 明るく元気な迫力のある作品が多く、火災の予防や安全確認を呼びかけようという気持ちの強さが伝わってきます。防火ポスターとして、何を訴えたいのか

入賞者

はつきりしていて説得力があります。

○西仙北町立和野小学校 六年 太田 敦也
 高学年らしくよく考えてまとめている。炎の中にいるいろいろの思いが描きまわっている。

佳作
 ○藤里町立藤里小学校 一年 川村 亮太
 ○協和町立峰吉川小学校 一年 さとう けんた
 ○角館町立角館小学校 二年 佐々木 和至
 ○藤里町立米田小学校 三年 小山 昂弥
 ○協和町立峰吉川小学校 四年 後藤 夏美
 ○藤里町立米田小学校 五年 細川 史緒理
 ○本荘市立石沢小学校 五年 小松 千紘
 ○藤里町立藤里小学校 六年 淡路 晴日
 ○秋田市立中通小学校 六年 伊藤 知子
 ○協和町立峰吉川小学校 六年 加藤 麻美
 ○協和町立立峰吉川小学校 六年 堀江 亮介
 ○南外村立南植岡小学校 六年 小林 穂博

【中学生の部】
 一席
 ○太田町立太田中学校 一年 高橋 美沙葵
 「火の妖精」の「コレ」や、天ぷらなべの炎、バツクの黒の工夫など中学生らしいシャープな表現。心をこめ、時間をかけた力作である。

二席
 ○鹿角市立花輪第一中学校 二年 浅利 尚希
 グレー調におさえた画面の中で、擬人化したマッチの表情やコピーがユニーク。出色の作である。

○能代市立能代第二中学校 三年 佐藤 花恵

中学生らしい整理されつつも、表現、レタリングが美しく読みやすい。

三席
 ○ツ井町立二ツ井中学校 一年 工藤 ほたる
 タバコ、ロソク、マッチ、アイロン、生活の中の「さいしよ」、小さな火と結びつけている。まさに啓発ポスターである。

○由利町立由利中学校 一年 阿部 叶恵
 「万粒の涙」の「コピ」や自然な表現に好感も作品である。

佳作
 ○能代市立能代第一中学校 一年 越後 千晴
 ○ツ井町立二ツ井中学校 一年 島山 千鶴
 ○八竜町立八竜中学校 一年 金子 桜子
 ○八竜町立八竜中学校 一年 茂林 友紀
 ○由利町立由利中学校 一年 佐々木 匠
 ○能代市立能代第二中学校 二年 石川 孝仁
 ○能代市立能代第二中学校 二年 田村 奈央
 ○ツ井町立二ツ井中学校 一年 櫻田 祐子
 ○ツ井町立二ツ井中学校 一年 佐々木 香里
 ○能代市立能代第二中学校 三年 梅田 聖子
 ○能代市立能代第二中学校 三年 川村 岬
 ○能代市立能代第二中学校 三年 佐藤 花恵



小学校の部

1席 加藤 裕人
 2席 篠木 菜
 3席 太田 敦也
 3席 とうどう かえで
 2席 後藤 達成

中学校の部

1席 高橋 美沙葵
 2席 浅利 尚希
 3席 成田 祐樹
 3席 小山 愛

●会 員 (消防団・職員・消防関係者)

- ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,000
- ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥3,800
- ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥6,000

●一般のお客様

- ・シングルルーム(洗面・トイレ付 税込) ￥3,500
- ・シングルルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥4,300
- ・ツインルーム(洗面・トイレ・バス付 税込) ￥7,000

ホテル あきた
 秋田市中通4丁目3の23
 (秋田県消防会館内)電話018(832) 4111

株式会社 **協 立**
 株式会社 **能代消防センター**

森田 ポンプ
 桜ホース・ソフト吸管
 各種消火器

ラビットポンプ
 消防被服一式
 消防機器一式

能代市栄町12の3 千016-0846
 TEL (0185) (52)6361
 (52)6494

消防団員のための
消防互助年金

10年確定年金
 10年保証終身年金

特別年金
 年金は毎年3% 複利で増増

年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

